



伊倉っ子 だより

【学校教育目標】
豊かな心と確かな学力を身に付け、
心身ともにたくましく生きる
児童の育成

伊倉小学校だより
第13号
令和7年12月2日
文責：校長 須藤 隆

なかよし集会 ～人権学習で学んだこと～

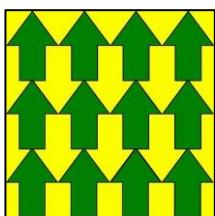
11月27日（木）の2・3校時に「なかよし集会」を行いました。12月4日～10日の全国人権週間、12月10日の世界人権デーに合わせ、伊倉小では毎年この時期に人権について考える集会を実施しています。今年は150周年式典で5年生が水俣学習、6年生が平和学習を発表したこともあり、低学年・高学年に分かれず、全学年そろっての集会形式となりました。

1年生は「くまさんはひとりぼっち」を学習し、くまさんや周りの動物さんの気持ちを自分の体験に重ねて発表しました。2年生は「ぼくのランドセル」を学習して、人によって態度を変えることは間違っていることを考え、感じたことをしつかり伝えました。3年生は「おうちのひとのしごとを見つめよう」を学習して、家族の仕事について実際に調べ、その大切さに気付いたことを紹介しました。4年生・ひまわり学級は「できないことないですか」を読んで、クラスの様子や自分の経験を振り返り、互いに支え合うことについて発表しました。さらに、学習会に参加している児童も「いなかの子」を学習し、いじめについて問い合わせながら自分の考えを伝えました。どの学年の発表も、児童一人一人が真剣に取り組み、自分の気持ちや考えを丁寧に表現していました。聞いている児童も真剣なまなざしで耳を傾け、発表後には多くの児童が温かい言葉や感想を返していました。

人権は特別な行事だけで意識するものではありません。日々の学校生活の中で、互いを尊重し大切にする心が育つよう、これからも学校全体で取り組みを続けていきたいと思います。



みんなちがって… ～なかよし集会校長講話より～



左のイラストの矢印は上向きに見えますか？それとも、下向きに見えますか？緑色に注目すると、矢印は上向きに見えます。一方、黄色に注目すると、矢印は下向きに見えます。つまり、このイラストは見る人によって矢印の向きが違いますが、どちらも正解です。ただ、見方が違うだけです。集会ではある小学生が書いた「いろいろなものの見方」という題の作文を紹介しました。友達と同じ虫を描いたのに、友達とは全く違った絵が出来上がったのを見て、『いろいろな見方を教えてくれた友達。大切にしたい』と書いていました。そこで、“みんなちがって当たり前。違いを認め合うことが大事”と話をしました。

伊倉小には代表委員会で作成した「仲良し宣言文」があります。その第一条には『みんな仲の良い、笑顔がいっぱい・思いやりいっぱいの学校にしよう』と書かれています。

友達との違いを認め合い、尊重し合い、誰もが安心して自分らしくいられる学校を作っていくたいと思います。

